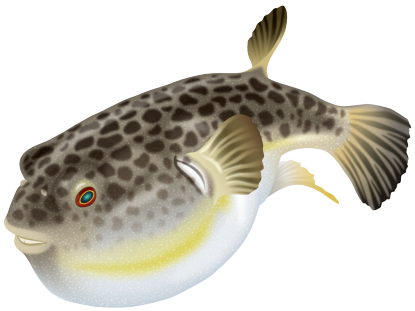
YAMAWA

カットウ釣りガイド ～伊勢湾編～



カットウ釣りとは・・・餌鈎と掛鈎を組み合わせ、餌に寄ってきたフグを引っ掛ける釣り方。

【タックル】

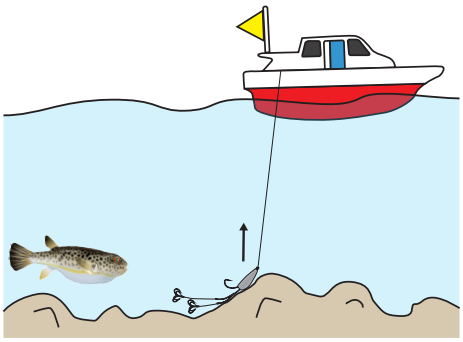
竿：カットウ竿、カワハギ竿などの先調子 (8：2 ～ 9：1) の竿を選びます。
その中でも穂先が柔らかい竿の方が目感度に優れ、アタリが取りやすくなります。
竿の長さはカットウ竿は 1.45m 前後、カワハギ竿は 1.8m が基本。
根が緩く、波が穏やかな状況では短いカットウ竿が機動性に優れ、
根が荒く、波が速い、高い状況では長いカワハギ竿が底取りしやすくなるので、
２種類の竿を状況により使い分けるのが理想的。

リール：小型の両軸リールが一般的。巻き上げスピードの速いハイギアタイプがおすすめです。

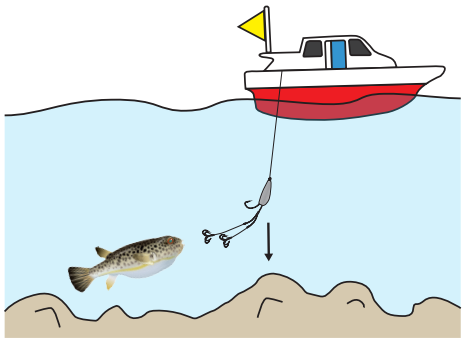
ライン：PE2 号以上を 100m 以上巻いてください。伊勢湾は根掛かりとの戦いになり、
PE1 号程度では仕掛けのロストばかりでまともに釣りができません。
ロストを避けるには、掛鈎を伸ばすか、ハリスを切って仕掛けが回収できる太い PE が必要となります。
また、根ズレ対策のリーダーも必須となるので、7 号前後のフロロを 1 ～ 2m 程度接続してください。

掛鈎：慣れないうちは比較的根掛かりの少ない狐タイプ、慣れてきたら早掛けタイプがおすすめです。
替鈎は 1 日 30 本程度を用意し、鈎先の変形や傷付いた場合は、ペンチとヤスリで修正しましょう。

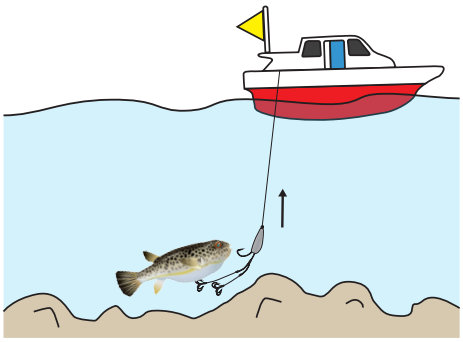
【基本テクニック】



①オモリ着底後素早く糸ふけを取り、
底取りをします。
このタイミングでフグが寄ってきている
可能性もあるので、
一度空アワセを入れます。

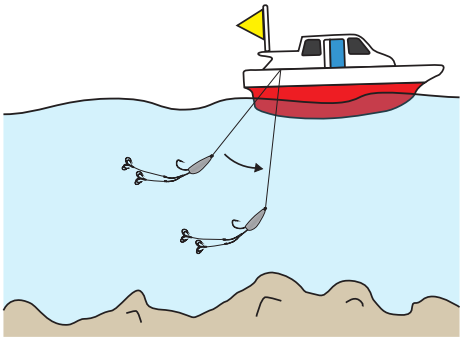


②空アワセ後ゆっくりとフォールさせ、
底取り後数秒間止めてアタリを待ちます。
アタリがなければ再度空アワセを入れ、
誘いを掛けます。

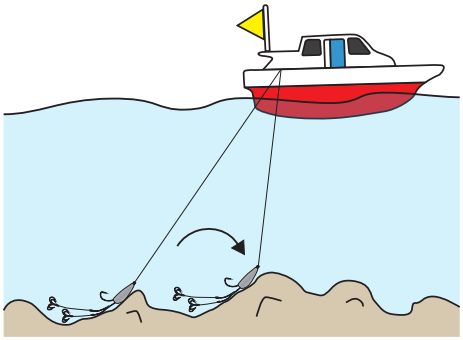


③どのタイミングでもアタリや
違和感を感じたら即アワセで OK。
ただし、素早い大アワセは NG。
寄ってきたフグを散らすので、
小さくシャープにアワセましょう。

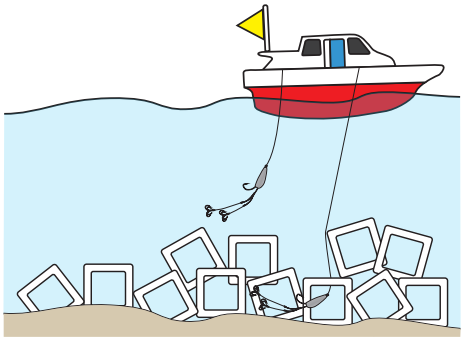
【ワンポイント】



投入時などに仕掛けが流れる場合は、
浮かせて待ちます。
仕掛けが安定したらフォールして
着底させましょう。



船は潮と風で移動するため、
仕掛けをそのまま底で止めていると
根掛かりします。
仕掛けが流れ出したら少し浮かせて再着底。
この繰り返しで底を探っていきます。



潮が速い時、波が高い時、深場、
人工魚礁で根が荒いポイントなどは
高い精度が求められます。
そんな時は底取りを諦め、
宙で待つことも必要になります。

【まとめ】

ご紹介したのはほんの一例です。他にも独自の理論で釣果を上げる名人もいます。回数を重ねる毎に新しい発想が釣果を上げる、
終わりのない楽しさがカットウ釣りにはあります。
アタリを取ってアワセて掛ける。アタリがあっても掛からない。アタリがなくても掛ける人がいる。だからこそ熱くなれる。
カットウ釣りは面白い。